

草木染 mini BOOK

このキットのコンセプトは、

「はじめての人が四季を通じて楽しめるカンタンな草木染」にしました。

市販の入門書よりも、簡単な説明にし、より簡単に染められるように工夫しました。
道具や材料も身近で揃えられるものにしています。

はじめての人が、草木染めを始めるきっかけになってもらえるようにこのキットを作りました。

これまで綿や麻を染めたことがある方も、ウールの染色方法を知ると毛糸の帽子や手袋、毛糸なども染めることができ、冬の楽しみ方が増えます。

草木染から、みなさんの毎日の暮らしがちょっぴり豊かになりますように。

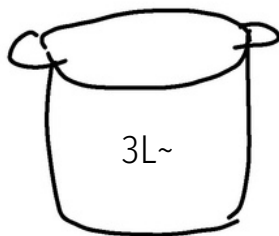
草木染の手順

1. ウールをあらう
2. 媒染する
3. 洗う
4. 染液をつくる
5. 染める
6. 洗う・干す

用意する道具

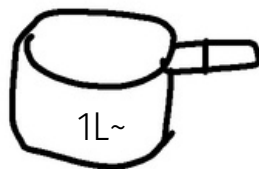
コンロ、水道を使います。

鍋 or ボウル



鉄、アルミ製以外の
ステンレスやホーローなど
(料理用NG、ボウルを100均で入手可)

鍋 or ボウル



鉄、アルミ製以外の
ステンレスやホーローなど
(料理用でOK)

ザルと布巾



スケール



用意する材料（キット材料）

染めるウール100gを基準に材料を揃えています

- ・ 染める素材（ウール）

100 g までを目安に

- ・ 染料となる植物

ドライの場合は30~50g

生の植物は100g~200g

- ・ 媒染剤

みょうばん(6g)、鉄液(2g)

- ・ 重曹、クエン酸

色を変化させる役割

- ・ クリームタータ

2g。製菓店で購入可。媒染剤の吸収を助ける

- ・ 箸

料理用とは別に用意

- ・ ゴム手袋

手が染まるのを防ぐ

- ・ 中性洗剤

少量

素材をあらう

ウールは縮まないように優しく扱うことがポイント



- 1.ぬるま湯をたっぷり張り、中性洗剤を少量溶かす（ソープナッツ液は50cc~100cc程）
- 2.ウールを入れてお湯を浸透させる（水がはじく場合は洗剤を増やす）
- 3.ときどきひっくり返して30分置く
- 4.ぬるま湯を入れ替えて優しく洗う

ソープナッツ洗剤液の作り方

瓶などの容器に熱湯200ccとソープナッツを5～10個を入れてよく振って泡立ててからしばらく置き、茶色い液体を使用する。ソープナッツは泡がでなくなるまで繰り返し使える。

媒染をする

ウールは冷水で縮むので、ぬるま湯にすることがポイント



1. 500Lの熱湯にクリームタータと媒染剤を溶かす
2. 大きい鍋に移して水を加えて2Lにし、ぬるま湯になるように調整する
3. ウールを入れて火にかけ、ゆっくり温度をあげる
4. 沸騰したら弱火にして10分加熱後、火を止め蓋をして冷めるまで置く
5. 媒染液を捨て、ぬるま湯を張った中でウールをゆっくりよく洗う

媒染液とは

金属が溶けた液体です、色素を定着させます。



アルミニウム

焼きミョウバンとして薬局で
購入可。



鉄液

染料店で購入可。

鉄液の作り方

錆びた鉄釘と水とお酢を1:1:1
の割合で瓶に入れ、
1週間ほど置くとできる。
鉄釘は再利用可。

染液をつくる

ウールの重さに合わせて植物の量を調整します



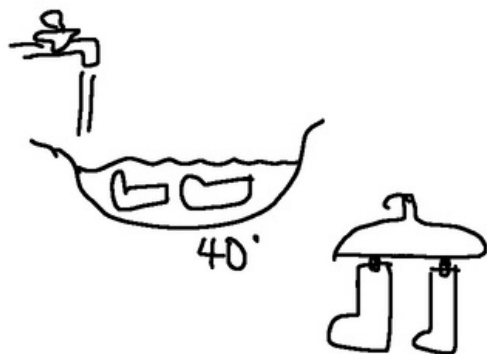
1. 別の鍋に植物と水を入れて煮出す
2. 沸騰したら弱火にして30分間煮出す
3. ザルと布巾等で濾して植物を取り出し、染液だけを残す
4. 大きい鍋に移して水を入れて2L程にする（ウールが泳ぐ量）

染める



- 1.火をかけぬるま湯になったらウールをいれる
- 2.ゆっくり温度をあげ、ときどき優しくウールをひっくり返す
- 3.沸騰したら弱火で30分煮る
- 4.火をとめて蓋をして冷めるまで置く

洗う、干す



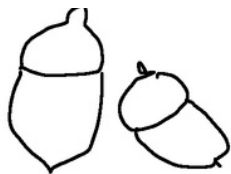
- 1.ぬるま湯を貯めて、ゆっくりよく洗う
- 2.水を切り、洗濯機で30秒脱水かタオルドライをする
- 3.陰干しする
- 4.乾いたら完成

取り扱い方法

- テキストが入ります
- テキストが入ります
- テキストが入りますテキストが入りますテキストが入りますテキストが入りますテキストが入りますテキストが入りますテキストが入ります
- テキストが入りますテキストが入りますテキストが入ります
- テキストが入ります

秋冬の染料

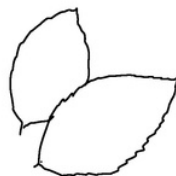
身近で手に入る植物



どんぐり



セイタカアワダチソウ



桜の落ち葉



もみじ



くり



梅の枝

他にも、ウコン、玉ねぎの皮、紅茶、コーヒー、ハーブティーなども染められます